

IV-26

嵐山嵯峨野観光における回遊路に関する考察

遊時創造 正会員 土井勉

1. 研究の目的

観光地の集客力の一つに回遊路の魅力がある。優れた回遊路の存在は観光地にとって二つの意義がある。一つは来訪者が回遊により、複数の施設訪問や風景の変化を自然に味わい、達成感を感じることである。二つ目には観光地の魅力向上策として、優れた回遊路をベースに、さらに回遊路を拡大することにより集客エリアの拡大を行うことが可能となるように考えられるからである。

ここではわが国でも代表的な回遊型の観光地である嵐山嵯峨野に着目して、点在する観光施設と、それを結ぶ回遊路に関する特徴について考察を行い、その優れた空間構成と高い回遊性との関係を明らかにするものである。

2. 観光地としての嵐山嵯峨野の特徴

年間3,500～4,000万人もの観光客訪れる京都の主要な観光訪問地は表-1のように、清水寺、嵐山、嵯峨野、東西本願寺などがあげられる。

嵐山・嵯峨野はそれぞれ京都市来訪の観光客の約13%が訪れているが、特に明確に単一で人々を集客する施設は見当たらない。嵐山や小倉山、桂川などの自然の風景を背景に、いくつかの観光目的となる小さな施設が分散している。このために特定の観光施設の周囲に門前町が形成される状況ではない（図-2）。

観光客は、平安時代に清少納言が「枕草子」に「野は嵯峨野さらなり…」と書いた風景と、その雰囲気背景に各施設にまつわる「物語」（表-2）を味わうことを期待して訪問しているように考えられる。

したがって、嵐山嵯峨野を紹介する観光ガイドブックでは表-2に示すような施設にゆかりの物語の紹介を行っている。単に施設を見るだけでなく、その背景を知ることにより充実した観光が行えるからである。

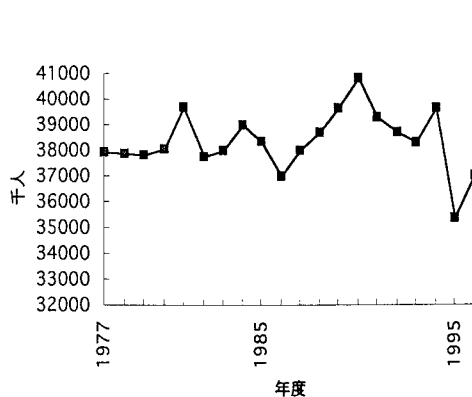


図-1 京都への観光客の訪問数¹⁾

表-1 観光客の主要訪問地²⁾

訪問地	回答(%)
1 清水寺	27.7
2 嵐山	13.4
3 嵯峨野 (各社寺を含む)	12.9
4 東・西本願寺	12.5
5 鞍馬・貴船 (各社寺を含む)	12.5

複数回答のため合計は100%にならない

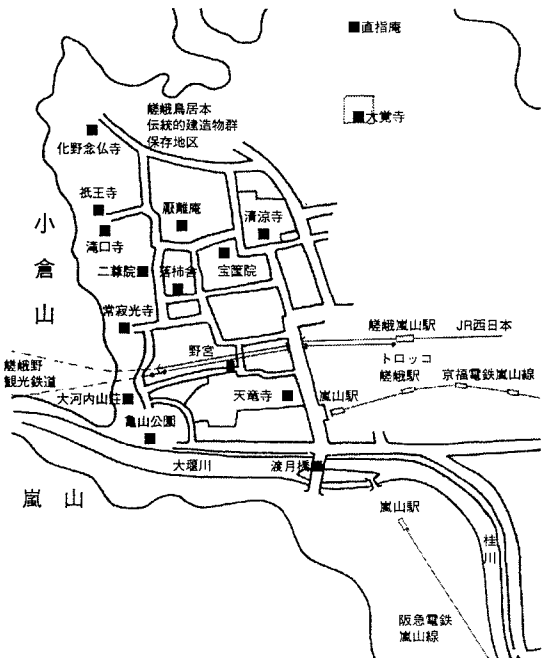


図-2 嵐山嵯峨野の主な観光施設

キーワード＝回遊路，観光地，集客，地域イメージ

連絡先（〒530-8389 大阪市北区1-16-1・TEL(06)375-5755/FAX(06)375-3506）

3 嵐山嵯峨野における観光施設の分布と回遊路

図-2の観光施設間の距離を示したものが図-3である。これより、各施設間の多くがちょうど500m程度以下の距離で結びついていることがわかる。プロムナードで快適な歩行距離は約450m³⁾を踏まえると、快適な回遊路が形成されていると考えられる。

この回遊路をパターン化したものが図-4である。嵐山嵯峨野も観光の起点を、交通アクセスの優れている渡月橋とした場合、天龍寺・野宮・大河内山荘・亀山公園を巡る回遊路が一つある(回遊路-1)。特に野宮と大河内山荘を結ぶ小道は両側が竹藪であり、いかにも嵯峨野を感じることができる。全体の距離は2km弱であり、時間のない観光客でも歩くだけなら一時間で十分に嵐山嵯峨野を散策できる。また野宮・大河内山荘・小倉山の山麓を散策して落柿舎を巡る約1.5kmのもの(回遊路-2)がある。これを巡るだけなら30分もあればいい。さらに落柿舎・二尊院・宝篋院を巡るもの(回遊路-3)があり、この回遊路から清涼寺や大覚寺、直指庵に至るルートや、祇王寺・滝口寺・嵯峨鳥居本や化野念仏寺に至るルートがある。

こうした回遊路により、往路と復路に変化を持たすことが可能となり、地理不案内であっても確実に帰ることができるため散策に適していると考えられる。嵐山嵯峨野では、3つ回遊路があり、これが散策ルートの選択肢の数を増やし、観光客に対して時間と目的に応じて様々なルートを提供している。特に、リピーターにとっては訪問のたびに異なったルートを体験できることが、集客の魅力要素となっている。

4. 集客性と回遊路

嵐山嵯峨野の回遊路の特徴は快適な歩行距離と選択性の多様さにあるが、これらの回遊路を結ぶ施設である野宮や落柿舎は規模は小さくても地域の雰囲気形成する代表的な「物語」に強く関連したものである。

こうした回遊路に関する空間構成の考察から、集客性を高めることが不可欠である商業地などの空間計画において、回遊路整備を行う場合の施設配置間隔や、地域イメージや「物語」を連想するような施設整備を行うことが望まれる。

表-2 嵐山嵯峨野の観光施設と物語

物語	観光ポイント			概要
	神社	寺院	その他	
源氏物語	野宮		竹林 桂川	賀木の巻(謡曲「野宮」) 松風の巻
枕草子			嵯峨野	野は...
平家物語		滝口寺 祇王寺 小倉山	竹林	瀬口入道・横笛 祇王・系女 小倉山(謡曲「小倉」)
小倉山百人一首			祇園庵 二尊院	小倉山山荘(明月亭)
太平記		天龍寺 大覚寺		後醍醐天皇・足利氏 南北朝
嵯峨日記			落柿舎	向井玄来と松尾芭蕉

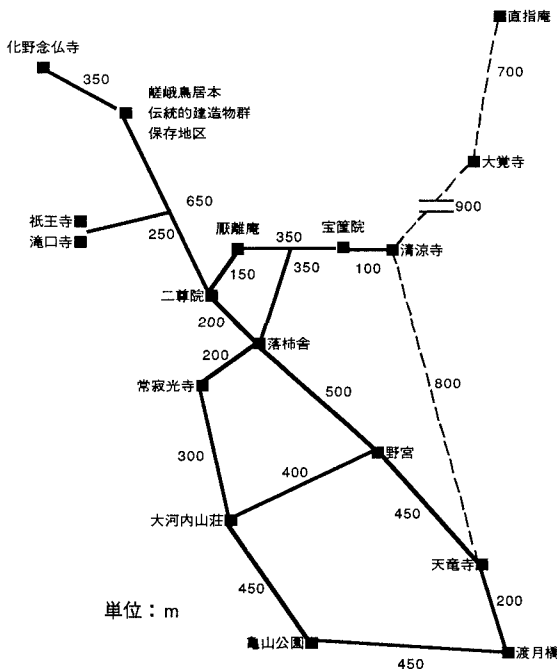


図-3 観光施設間距離

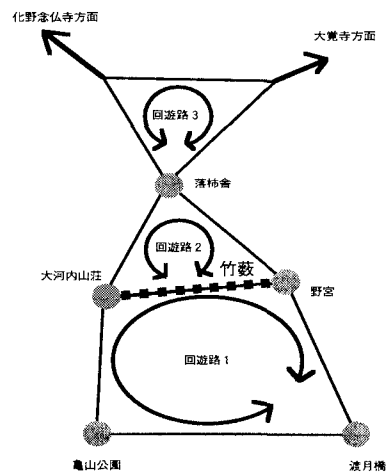


図-4 回遊路

参考文献

- 1)京都市産業観光局観光部振興課：「京都市観光調査年報平成8年」,1997年10月。
- 2)同上
- 3)C.アレグザンダー他：「パターン・ランゲージ」,鹿島出版会,pp.91～93,1984年。